

第15回

風景デザイン ワークショップ

ONLINE

2021
10/15 (金)
14:00 ▶ 17:10

風景デザイン研究会

— 絶え間ない実践のなかで美しい風景を創る —

www.fukei-design.jp

風景デザイン研究会は、

2006年の設立以来、

「絶え間ない実践の中で美しい風景を創る」を

活動テーマに掲げ、

様々な活動をおこなってきた。

毎年恒例の風景デザインワークショップは、

風景について研鑽を重ねる重要な場である。

今回はオンラインの形式ではあるものの、

第1部では風景デザインアワードについて、

第2部では「緑の流域治水」を切り口に、

災害と風景の再生・創造について、

深く議論したい。

あわせて、

当研究会の15年間の活動についても報告する。

建設コンサルタンツ協会CPD制度認定プログラム(第1部 1.00単位・第2部は 2.00単位)

第1部 14:00~14:55 @ Zoom・YouTube

第2部 15:10~17:10 @ Zoom

無料配信

風景デザイン研究会正会員、賛助会員・学生 無料配信、非会員 1,000円

前半 活動報告

- 14:00 開会 和泉大作
風景デザイン研究会幹事長
(株)建設技術研究所
- 14:05 会長挨拶 島谷幸宏
風景デザイン研究会会長
九州大学特命教授
熊本県立大学特別教授
- 14:10 風景デザイン研究会の活動報告 柴田久
風景デザイン研究会副会長
福岡大学教授

後半 第3回 風景デザインアワード

司会 | 寺村淳 風景デザイン研究会幹事・第一工科大学准教授

- 14:25 挨拶・趣旨説明 寺村淳
- 14:30 選考結果の講評と表彰 山下三平
風景デザイン研究会フェロー
九州産業大学教授
- 14:50 総評 山下三平
- 次回案内 寺村淳

第3回風景デザインアワード[※]の講評と表彰式を開催する。
本来2020年5月に開催予定だったが、コロナウイルス感染拡大の影響を考慮して延期したものを、今回改めてオンラインで実施する。既に受賞結果は風景デザインアワードのホームページに公開されているが、選考委員による評価のポイントや受賞者からのコメントを改めて公開することで、受賞事例の価値の共有を図る。

※ 風景デザインアワードとは？

「規範」となる風景の発見をめざして、他地域で知られていない風景の多様な価値を見出し、保全や活用を支援し、もって優良な風景とその観方を社会に広く共有することを目的として風景デザイン研究会が独自に選出している賞

座談会 災害と風景の再生・創造

～ 緑の流域治水を中心に

司会 | 星野裕司 風景デザイン研究会幹事・熊本大学准教授

- 15:10 趣旨紹介 星野裕司
- 15:15 話題提供 和泉大作
島谷幸宏
養茂寿太郎
一般財団法人公園財団理事長
熊本市都市政策研究所
- 16:10 ディスカッション 話題提供者
星野裕司
田中尚人
風景デザイン研究会副幹事長
熊本大学准教授
- 17:00 閉会 田中尚人

激甚な災害が頻発する現在、防災や減災に関して大きな発想の転換が求められている。昨年7月の豪雨災害から復興を目指す球磨川においても、熊本県が推進する「緑の流域治水」をはじめ、様々な議論が進められている。そこで本座談会では、流域治水とは何か、球磨川ではどのように展開すべきか、これからの流域の風景はどうなっていくべきなのか、という課題に対して、河川、都市、農業、林業など様々な観点から議論する。



球磨川

お申し込み方法

QRコードを読み取り、参加フォームからお申込みください。いただいたメールアドレスにアクセス方法等をご連絡いたします。



お問合せ

風景デザイン研究会 事務局
info@fukei-design.jp

主催 風景デザイン研究会
共催 (一社)建設コンサルタンツ協会
九州支部